

養生片仔癩の研究内容：

<実例報告>

「養生片仔癩」の肝臓病患者における 血中ALT（GPT）及びAST（GOT）に対する効果

第3回 国際臨床ウイルス性肝炎学会
平成11年12月12日～16日 ハワイ マウイ島

謝心範¹、原田雅義²、矢内原昇³
(有)漢方養生研究所¹、(医)原田病院²、(株)矢内原研究所³

西暦2000年国際肝臓学会・アジア太平洋肝臓学会合同会議
平成12年6月2～7日 福岡シーホークホテル

謝心範¹、原田雅義²、矢内原昇³
(有)漢方養生研究所¹、(医)原田病院²、(株)矢内原研究所³

[目的]

本研究の目的は、C型ウイルス性肝炎を含む様々な種類の肝臓病患者における、新漢方処方「養生片仔癩」の血中ALT(GPT)とAST(GOT)に対する効果を調べる点にある。

[背景]

新漢方処方「養生片仔癩」は田七人參、田七杜仲精、黄精、甘草を成分とし、既に、起炎剤としてD-グルコサミンを用いたラットの実験の肝障害モデルにおいて、血中ALT（GPT）とAST（GOT）を減少させることを確認している。今回の研究では更にC型ウイルス性肝炎を含む肝臓病患者に対する効果を調べた。

[成分]

田七人參、田七杜仲精、黄精、甘草

[方法]

医療機関医師の指導のもと、肝臓病患者に本品1gを1日3回毎食後に経口投与した。

[結果と結論]

養生片仔癩の研究内容：

C型肝炎の患者4名を含む7例の「養生片仔癩」を使用した肝臓病患者において、使用開始後10日でALT（GPT）とAST（GOT）の数値が著しく減少した。C型肝炎の4名の患者において平均してALT（GPT）が21%、AST（GOT）が72%に減少していた。これらの結果より、養生片仔癩は様々な種類の肝臓病患者において、増加した血中ALT（GPT）とAST（GOT）を明らかに減少させることが判明した。」は田七人參、田七杜仲精、黄精、甘草を成分とし、既に、起炎剤としてD-グルコサミンを用いたラットの実験の肝障害モデルにおいて、血中ALT（GPT）とAST（GOT）を減少させることを確認している。

そして、試験期間中を通じて、いかなる副作用も認められなかった。